

長崎市障害者自立支援協議会 相談支援部会

■相談支援部会 令和6年度 活動報告

日 時	内 容
<p>【コア会議】 4月11日(木) 15:00~17:00</p>	<p>① 初任者向け研修、ケアマネとの意見交換会、マニュアル修正班に分かれ検討 ② その他 →初任者向け研修(7月)、ケアマネとの意見交換会(1月)、マニュアル修正完成(7月)に向け3つのグループに分かれ検討する</p>
<p>【コア会議】 5月13日(月) 15:00~17:00</p>	<p>① 初任者向け研修内容検討 →記録の取り方を学ぶ機会を作る ② 相談支援の手引き(マニュアル)について →児童申請の仕方加えていく ③ ケアマネとの意見交換会 →基幹センターとの合同研修として行う ④ その他</p>
<p>【コア会議】 6月11日(火) 15:00~17:00</p>	<p>① 初任者向け研修内容の確認と役割分担 →申し込み者が少なかったため長与・時津にも声をかけたが参加者はいなかった ② マニュアル最終確認 →今年度より加わった加算について再度見直し、掲載することにした ③ その他</p>
<p>【連携会議】 7月18日(木) 15:00~17:00</p>	<p>◆ 初任者向け研修 対象：初任研を終えて4年以内の相談支援専門員 内容：障害福祉課より支援系の職員紹介。障害サービスの申請方法 マニュアル説明、ロールプレイ、グループワーク →事後アンケートでロールプレイの評判が良かった</p>
<p>【コア会議】 9月11日(水) 15:30~17:30</p>	<p>① 初任者向け研修会の振り返り →コアメンバーからも勉強になったと好評だった。時間が短かったと反省がでた。 ② 介護支援専門員との研修会について →中央ブロックの介護支援専門員協会よりお声掛けいただき急遽開催することになったので打ち合わせを行った ③ その他 →障害福祉課より加算についての回答をもらう ※地域体制強化支援加算について ※主任加算に関する届け出について</p>
<p>【連携会議】 10月4日(金) 14:00~16:00</p>	<p>◆ 介護保険法と総合支援法について あいさぼーと 大峰氏が発表 →居宅介護支援事業所が企画した研修に声をかけていただき急遽合同研修とさせていただいた ・グループワークでケアマネージャーの方との意見交換ができた</p>

日 時	内 容
【コア会議】 10月15日(火) 15:00~17:00	① ケアマネ合同研修の振り返り ② 加算要件の報告書シート検討(主任) ③ 1月の研修会企画 ④ その他
【コア会議】 11月11日(月) 15:00~17:00	① 基幹相談支援センターとの合同研修の企画・打合せ ② その他
【コア会議】 12月11日(水) 15:00~17:00	① 1月の研修内容最終確認 ② 来年度の計画について ③ その他
【連携会議】 1月17日(金) 14:00~16:00	◆ 基幹相談支援センターとの合同研修会 内容:行政説明(拠点について、就労選択支援について) 三層の説明(基幹、委託相談支援事業所についての説明) グループワーク
【コア会議】 2月20日(金) 15:00~17:00	① 合同研修の振り返り ② 来年度の計画について
【コア会議】 3月11日(火) 15:00~17:00	① 虐待報告について ② 次年度の計画について

■課題等

- ・地域課題としては前年度から引き続き地域の資源不足、特に「相談支援事業所が新規を受けることができない。」「ヘルパー事業所がみつからない」があげられる。
- ・相談支援部会の活動を情報開示する機会が研修という形でしかなく、そのため課題の深掘りができていない。

・資源不足に関しては、「相談支援事業所が新規相談を受けることができない」点に関しては来年度行政の方とも協議をしながらセルフプランの活用を考えていきたい。

・「ヘルパー事業所がみつからない」点に関してはどのようなサービスを使っているのかを調査し、必要な量を適切に使っているかを検討していく段階に来ていると思う。

・相談支援部会の活動を知ってもらう機会が研修という形でしかない点については、今年度初任者向け研修、ケアマネとの意見交換会、基幹センターとの合同研修と3回行い、活動について知ってもらう機会をつくったが、コア会議の中で準備→開催→反省で終わってしまい、グループワークの中で出た意見をじっくり検討する時間があまりなかったという反省があった。

・今年度の研修のグループワークは地域課題(※)とあげられそうな項目をいくつか出し合い、興味があるグループに分かれて協議を行った。

※業務での困りごと、児童のケース、精神の障害がある方への関わり方、社会資源不足など
どちらの研修でもハラスメントを選択できるようにしたが、1人も希望者がいないというのが気になる。

- ・地域体制強化共同支援加算についても行政や基幹センターとで協議していく必要がある。
- ・この1年を通して研修に参加する事業所が限られてきており、全相談支援事業所が顔を合わせることが少なくなっている。いかに以前のように顔の見える関係を作っていくことができるのか、ということが今後の課題である。